

SUPER FORMULA LIGHTS RACE REPORT

Rd.1-2-3	SUZUKA CIRCUIT	»»»»»»»»»»	MAR 08-09
Rd.4-5	AUTOPOLIS	»»»»»»»»»»	MAY 17-18
Rd.7-8-9	OKAYAMA	»»»»»»»»»»	JUN 21-22
Rd.10-11-12/6	Sportsland SUGO	»»»»»»»»»»	AUG 30-31
Rd.13-14-15	FUJI SPEEDWAY	»»»»»»»»»»	SEP 06-07
Rd.16-17-18	MOBILITY RESORT MOTEGI	»»»»»»»»»»	NOV 29-30

FULL SPEEDWAY

**TOM'S**

Rd.13-14-15 FUJI SPEEDWAY 9.6[sat] - 7[sun]

circuit 富士スピードウェイ (静岡県小山町)

weather sat 晴れ sun 曇り

spectators 発表なし



2025年全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 Round13・14・15が、9月6日(土)・9月7日(日)に富士スピードウェイで行われた。Round13では大混戦の展開のなか順位を上げたエステバン・マッソンが自己最高位タイとなる2位表彰台。Round14では小林利徠斗がポール・トゥ・ウィンで今季初優勝を飾った。Round15では新品タイヤを温存していた古谷悠河が終始トップ争いを繰り広げ2位。佐野雄城はRound14・15の4位が最上位となった。

モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

35

YUKI SANO

Driver 佐野 雄城

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選	3位	5位	5位
決勝	5位	4位	4位

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選タイム	P3/1'33.290	P5/1'33.660	グリッドは第13戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P5/1'34.781 Fastest Lap	P4/1'35.018	P4/1'35.108

PONOS Racing TOM'S TGR-DC SFL

36

ESTEBAN MASSON

Driver エステバン・マッソン

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選	6位	6位	2位
決勝	2位	5位	7位

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選タイム	P6/1'33.874	P6/1'33.751	グリッドは第13戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P2/1'35.108	P5/1'34.915	P7/1'35.708

Deloitte. HTP TOM'S 320

37

YUGA FURUTANI

Driver 古谷 悠河

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選	5位	3位	3位
決勝	3位	6位	2位

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選タイム	P5/1'33.867	P3/1'33.538	グリッドは第13戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P3/1'35.491	P6/1'35.199	P2/1'34.569

モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

38

RIKUTO KOBAYASHI

Driver 小林 利徠斗

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選	2位	1位	11位
決勝	11位	1位	3位

	Rd.13	Rd.14	Rd.15
予選タイム	P2/1'33.248	P1/1'33.376	グリッドは第13戦の決勝レース結果
決勝ベストタイム	P11/1'34.787	P1/1'34.461 Fastest Lap	P3/1'35.002

QUALIFYING

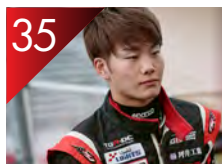


小林が予選 2 回目で 今季初ポールポジションを獲得。 古谷も 3 番グリッドにつける。

前回の SUGO から 2 週連続での開催となった今大会。台風 15 号に伴う大雨の影響で、5 日 (金) に予定されていた専有走行がキャンセルとなり、同日の夕方と、6 日 (土) 早朝に各 30 分のセッションが設けられた。予選 1 回目はライバルも手強く、ポールポジション獲得はなかったが、小林が 2 番手を獲得。佐野も僅差で 3 番手に続いた。古谷は 1 分 33 秒 497 を記録したが走路外走行の判定でタイムは採用されず、1 分 33 秒 867 で 5 番手となった。富士での走行経験が少ないマッソンは、専有走行の時間が短くなったことも影響し、6 番手に終わった。

予選 2 回目では、終盤にライバルを逆転した小林が今シーズン初のポールポジションを獲得。古谷も微調整を施してタイムを更新し、3 番手につけた。佐野はコース後半でのミスが響き 5 番手。マッソンは 1 回目と同様に 6 番手となり、決勝での追い上げを狙う。

35



**予選 2 回目のミスは、
けっこうショックでした。**

ドライバー 佐野 雄城

予選 2 回目は途中まで非常に良かったのですが、ブレーキングでタイヤがロックしてしまい、悔しいです。富士は他のコースと比べても抜きやすいので、チャンスはあると思います。しっかりと順位を上げて勝ちたいです。

36



**決勝では自力で追い抜いて
順位を上げていきたい。**

ドライバー エステバン・マッソン

富士での走行経験があまり多くない僕にとって、悪天候の影響で練習走行の時間が短くなってしまったのは痛かった。予選では現状のパフォーマンスをしっかり引き出せたと思うけど、トップとは差があるから十分ではない。

37

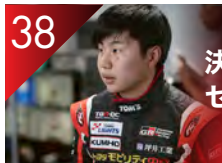


**セッティングを合わせ込めれば、
ポールも狙えたかもしれません。**

ドライバー 古谷 悠河

予選 1 回目でうまくいかない部分があったので、2 回目に向けてクルマのセッティングやタイヤの内圧を調整した結果、順位を上げることができました。でも、まだまだ足りていない感じでしたし、アタックもまとめきれなかったです。

38



**決勝レースに向けて、
セッティングをさらに詰めたいです。**

ドライバー 小林 利徳斗

ポールポジションは獲得できましたが、クルマの仕上がりに納得がいかないところがあります。レースに向けたセッティングも詰めていく必要があると思っています。クルマのポテンシャルをさらに引き出して、優勝を目指して頑張ります。



チーム監督 山田 淳

久しぶりのポールポジションなので嬉しいです。

台風の影響で練習走行の時間が大幅に減りましたが、ライバルが速いなという印象でした。2 回目の予選で小林がトップタイムを記録しましたが、他の 3 人も含めて、まだ改善の余地がありそうです。

Rd.13 天候：曇り／気温：27℃／路面温度：35℃ Rd.14 天候：晴れ／気温：26℃／路面温度：27℃

Rd.15 天候：曇り／気温：27℃／路面温度：35℃

RACE



小林がRound14で今季初優勝。 マッソン、古谷も表彰台に上がる 活躍をみせる。

6日(土)午後のRound13決勝(21周)では、佐野がトップでチェッカーを受けたが、他車への接触行為で5秒加算のペナルティを科せられ、最終結果は5位。小林もジャンプスタートに伴う10秒加算のペナルティで11位となった。一方、序盤の混乱で順位を上げたマッソンが自己ベストタイの2位、古谷が3位に入った。

7日(日)のRound14(15周)では、小林がライバルを圧倒し、ポール・トゥ・インで今季初優勝を果たした。佐野が4位、マッソンは5位、古谷は6位でレースを終えた。

Round15(15周)は、古谷が終始トップを追い詰める走りをみせたが逆転ならず2位。最終ラップまで白熱した3番手争いは小林が3位、佐野が4位、マッソンはスタートでの出遅れが響き7位となった。なお、Round15で#50 野村勇斗のドライバーズチャンピオンが決定。11月のもてぎ大会では、逆転でのチームタイトル獲得を目指す。



35

ペースが上がらなくて
厳しかったです。

ドライバー 佐野 雄城

前のクルマの後ろについてダウンフォースが抜けている状態で走っていると、タイヤも苦しくなってペース的にも厳しかったです。ドライバーズチャンピオンはライバルに獲られましたが、もてぎでの3連戦は全部勝てるように頑張ります。



36

1レース目は順位を上げて、
うまくマネジメントできた。

ドライバー エステバン・マッソン

1レース目に関しては6番手から順位を上げて2位でゴールできたのは良かった。いろいろと動きが激しかったレースのなかで、うまくマネジメントできた。だけど、まだ改善が必要なので、次のもてぎに向けてしっかり見直したい。



37

次のもてぎ大会では
優勝できるように頑張ります。

ドライバー 古谷 悠河

3レース目に新品タイヤを温存していたので、何とかトップに立ちたいと思っていましたが、1周目の攻防で相手を抜き切ることができず、悔しいレースになりました。ただ、ペースはあったので、これを次のもてぎに繋げたいです。



38

ずっと調子が良くなかったので、
ポール・トゥ・ウィンができて良かった。

ドライバー 小林 利徳斗

1レース目は気持ちが入りすぎてフライングにつながりましたが、2レース目は無事に決めることができました。今シーズンはずっと調子が良くないなかで、ようやく1勝目を挙げることができました。もっと経験を積んで、良いレースをしていきたいです。



チーム監督 山田 淳

チームタイトルの可能性があるので、次のもてぎ大会では全力で頑張りたい。

この週末を振り返ると小林の調子が良かったです。1レース目がもったいなかったですが、2レース目ではポール・トゥ・ウィンを決めたのは素晴らしいかったです。佐野も最後は意地をみせましたし、古谷も良い走りをしていました。

TOM'S



Deloitte. **PONOS** トヨタモビリティ中京 **KUO GROUP**



坪井工業



損保ジャパン

東京アーバンコンサルティング

Happiness in Your Life
広島トヨペット
HIROSHIMA TOYOPET TECHNICA

HTP Racing
Hiroshima Toyopet Technica

Vバンテリン

ヴェルディ

LAC

トヨタカローラ静岡

EDIFICE
CASIO

S&D
TAMA GROUP

GR TOYOTA GAZOO racing

TGR-DC
TGR Driver Challenge Program

TGR-D

MOTUL

ENKEI

ThreeBond

PFC
HARCE

KUMHO